

郷土を愛し世界に開かれた心を育てる人づくり

教育と文化[教養を高め心豊かなまち]

私たちの郷土から世界へむけて、
心の豊かさを育てる人づくり、
開かれた都市文化と、人々の創造性をめざします。

教育環境の一層の充実とともに、市民がさまざまな能力開発の機会に恵まれ、身近な所で、多彩な芸術や文化に接することのできる、豊かな心や人間性を育む人づくりを重視した、文化的な都市をめざします。さらに、本市の伝統的な文化性を現代の新たな環境のもとでリフレッシュし、内外に届く新たな都市文化の発信機能を高めていきます。

教育施策では、個性と創造性を伸ばし、郷土の伝統と文化に根差す豊かな人間性を備えた若者達の健全な育成を目的として、各教育施設および指導面での充実を図っています。

そのために、年次計画により教育施設の増改築を進め、施策の充実を行うとともに、外国人英語教師招致事業などによって国際化教育を推進

しています。また低年齢層からの教育の充実にも努力を重ねています。

さらに、スポーツ振興活動などを通して社会教育機関との連携をはかり、家庭内教育との連絡を密に保ちながら、健やかで明るく、たくましい子供たちの育成を推進しています。

一方、生涯教育の充実も時代の新しい要請であり、市では社会教育の場と機会を提供するとともに、より多くの市民の社会参加を積極的に促進していきます。

昭和五十八年、二十三億円の巨費を投じて建設された「喜多方プラザ文化センター」は、千二百人



生活の活力と潤いを産み出す共同社会の仕組みづくり

福祉の充実[互いに助けあうあたたかいまち]

人々のぬくもりとやさしさあふれるまち、
さらにワンランク上の安心の生活、
福祉の充実は、やすらぎの日々を約束します。

「物」の豊かさから「心」の豊かさを求める時代に変化しつつある今日、優しさや心のふれあい、コミュニケーションの重要性が再認識されています。言葉だけの福祉ではなく、市民ひとりひとりが参加した、本来の意味の福祉施策が真に求められている時代といえます。

福祉の充実はやすらぎの日々を約束します。人生八十年時代を健康で生きがいのある生活を送るため、すべての市民がふれあい、健康で自立して、共に生きる環境づくりを進めています。

高齢化社会の到来と共に、充実した老人福祉は今後の重点的課題です。児童福祉、障害者福祉についても多くの市民の協力と理解が必要となっています。市では、寝たきり老人や

障害者に対する入浴などのデイサービスを実施、一人暮らしの老人への家庭奉仕員派遣、老人ホーム施設の充実などを積極的に推進しています。

また、生きがいある老後を送るための高齢者生産活動センター、シルバー人材センター、総合福祉センターなどが設置され、社会福祉協議会との連携を深めながら、市民総参加による充実した福祉施策の推進に向けて努力を重ねています。

健康は、健全で明るい市民生活を送る上でかけがえのないもの。保健活動の拠点である「保健センター」を中心に、市民の健康管理、予防



医療体制の強化を図るため、医師、保健婦、看護婦、栄養士、保健推進員が協力して、各種予防接種や成人病検診をはじめ、健康教室、栄養教室などを開催し、調和のとれた健康づくりに努めています。また、医師会の協力により、休日当番医制、病院群輪番制を設け、緊急時の医療体制を整えています。